



WOWOW 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場会社名 株式会社WOWOW 上場取引所 東
 コード番号 4839 URL <https://corporate.wowow.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 田中 晃
 問合せ先責任者 (役職名) 人事総務局長 (氏名) 山口 基貴 TEL 03-4330-8080
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・記者向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	57,633	△3.3	4,131	△11.9	4,181	△15.5	2,807	△20.2
2022年3月期第3四半期	59,621	0.7	4,690	△54.1	4,948	△52.4	3,520	△49.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,696百万円 (△19.5%) 2022年3月期第3四半期 3,350百万円 (△51.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	97.88	—
2022年3月期第3四半期	129.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	99,727	68,005	68.2
2022年3月期	99,652	66,956	67.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 68,005百万円 2022年3月期 66,956百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期（予想）				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 開局30周年記念配当 10円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,500	△4.0	2,300	△56.3	2,500	△53.3	1,600	△62.3	55.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	28,844,400株	2022年3月期	28,844,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	138,363株	2022年3月期	187,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	28,686,117株	2022年3月期3Q	27,165,370株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ「経営成績に関する説明」及び3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 販売の状況	9
(2) 四半期個別業績情報 (参考)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の水際対策の緩和や政府による旅行支援策等により、経済活動は正常化に向かう動きを見せました。しかしながら、世界的な金融引き締めを背景とした景気の下振れ懸念や、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、物価上昇や人手不足によるコストの増加等、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような経済環境下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、累計正味加入件数の減少に伴い会員収入（注）が減少したこと等により、売上高は576億33百万円と前年同期に比べ19億87百万円（△3.3%）の減収となりました。一方、費用面で、前年同期はサッカー等大型スポーツコンテンツの戦略的な投下を行ったため、当第3四半期連結累計期間における番組費が前年同期に比べ大幅に減少しましたが、広告宣伝費等が増加したことにより、営業利益は41億31百万円と前年同期に比べ5億59百万円（△11.9%）の減益、経常利益は41億81百万円と前年同期に比べ7億67百万円（△15.5%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億7百万円と前年同期に比べ7億12百万円（△20.2%）の減益となりました。

（注）第1四半期連結会計期間より当社グループの事業戦略と整合性をとることを目的に、従来「有料放送収入」としていた収益の名称を「会員収入」に変更しております。

<メディア・コンテンツ>

累計正味加入件数の減少に伴い会員収入が減少したこと等により、売上高は532億69百万円と前年同期に比べ21億85百万円（△3.9%）の減収となりました。一方、費用面で、前年同期はサッカー等大型スポーツコンテンツの戦略的な投下を行ったため、当第3四半期連結累計期間における番組費が前年同期に比べ大幅に減少しましたが、広告宣伝費等が増加したことにより、セグメント利益は36億84百万円と前年同期に比べ4億56百万円（△11.0%）の減益となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の加入状況は次表のとおりとなりました。

（単位：件）

	第38期第3四半期	第39期第3四半期	対前年同期差	対前年同期増減率
新規加入件数	459,861	380,244	△79,617	△17.3%
解約件数	555,029	506,220	△48,809	△8.8%
正味加入件数	△95,168	△125,976	△30,808	—
累計正味加入件数	2,696,303	2,554,435	△141,868	△5.3%
内) 複数契約(注)1	383,985	362,299	△21,686	△5.6%
内) 宿泊施設契約(注)2	77,474	80,686	3,212	4.1%

(注)1. 同一契約者による2契約目と3契約目については、月額2,530円(税込)の視聴料金を990円(税込)に割引しており、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

2. 宿泊施設の客室で視聴するための宿泊施設事業者との契約については、視聴料金を個別に定めており、当該契約を「宿泊施設契約」と呼称しております。

<テレマーケティング>

外部顧客からのテレマーケティング業務等外部売上及びグループ内部売上が増加したことにより、売上高は74億96百万円と前年同期に比べ2億86百万円（4.0%）の増収となりました。セグメント利益は、外部顧客からの新規受注に係る初期コストがかさんだこと等により、4億47百万円と前年同期に比べ1億3百万円（△18.7%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

第3四半期連結会計期間末における総資産は997億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円の増加となりました。主な要因は、有形固定資産が減少したものの、流動資産の番組勘定及びその他が増加したことによるものです。

(負債)

負債は317億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億74百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債のその他が減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は680億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億49百万円の増加となりました。主な要因は、剰余金の配当がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び自己株式の減少によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.0ポイント上昇し、68.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,742	31,372
売掛金	6,422	6,034
商品及び製品	8	3
番組勘定	26,838	27,613
仕掛品	16	19
貯蔵品	50	59
その他	2,931	3,858
貸倒引当金	△67	△66
流動資産合計	66,942	68,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,641	4,418
機械及び装置（純額）	5,227	4,695
工具、器具及び備品（純額）	2,225	1,856
建設仮勘定	91	82
その他（純額）	34	31
有形固定資産合計	12,221	11,083
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
その他	3,093	2,921
無形固定資産合計	8,105	7,932
投資その他の資産		
投資有価証券	9,088	9,124
繰延税金資産	2,213	1,763
その他	1,432	952
貸倒引当金	△351	△24
投資その他の資産合計	12,383	11,815
固定資産合計	32,710	30,831
資産合計	99,652	99,727

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,538	23,685
未払法人税等	380	207
引当金	56	28
その他	6,590	5,611
流動負債合計	30,566	29,533
固定負債		
退職給付に係る負債	2,026	2,042
その他	103	145
固定負債合計	2,130	2,188
負債合計	32,696	31,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	3,240	3,230
利益剰余金	58,538	59,627
自己株式	△312	△230
株主資本合計	66,467	67,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	345	248
繰延ヘッジ損益	111	98
退職給付に係る調整累計額	32	30
その他の包括利益累計額合計	489	377
純資産合計	66,956	68,005
負債純資産合計	99,652	99,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	59,621	57,633
売上原価	37,775	36,977
売上総利益	21,846	20,656
販売費及び一般管理費	17,155	16,525
営業利益	4,690	4,131
営業外収益		
受取利息	14	14
為替差益	76	—
持分法による投資利益	86	169
助成金収入	35	27
その他	103	66
営業外収益合計	316	278
営業外費用		
為替差損	—	187
その他	58	41
営業外費用合計	58	228
経常利益	4,948	4,181
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	1	8
特別損失合計	1	8
税金等調整前四半期純利益	4,947	4,173
法人税、住民税及び事業税	1,334	828
法人税等調整額	92	536
法人税等合計	1,427	1,365
四半期純利益	3,520	2,807
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,520	2,807

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,520	2,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△186	△96
繰延ヘッジ損益	2	△62
退職給付に係る調整額	△0	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	15	49
その他の包括利益合計	△169	△111
四半期包括利益	3,350	2,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,350	2,696

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	メディア・ コンテンツ	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,253	4,380	57,633	—	57,633
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	3,115	3,131	△3,131	—
計	53,269	7,496	60,765	△3,131	57,633
セグメント利益	3,684	447	4,131	—	4,131

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(1) 固定資産に係る重要な減損損失

該当事項はありません。

(2) のれんの金額の重要な変動

該当事項はありません。

(3) 重要な負ののれん発生益

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

当第3四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	対前年同四半期増減率 (%)
メディア・コンテンツ	53,253	△3.9
テレマーケティング	4,380	4.8
合計	57,633	△3.3

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. メディア・コンテンツセグメントには会員収入47,596百万円を含んでおります。

(2) 四半期個別業績情報 (参考)

① 個別経営成績 (累計) ・個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	49,578	△4.8	3,161	△13.7	3,546	△13.8	2,477	△16.9
2022年3月期第3四半期	52,074	△0.3	3,665	△63.8	4,116	△60.3	2,980	△57.4

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期第3四半期	90,231	59,684		
2022年3月期	90,243	59,012		

(注) 個別経営成績 (累計) ・個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

② 2023年3月期の個別業績予想

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,700	△3.7	2,100	△51.8	1,400	△60.4	48.80

(注) 当四半期における業績予想の修正はありません。